

第10期 定時株主総会

2016年3月30日
(株)ポーラ・オルビスホールディングス

第10期 事業報告

平成27年1月1日から12月31日まで

事業の経過及びその成果

経済・市場動向

経 済

輸出に弱さも見られるが、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調

国内市場

インバウンドにより堅調に推移
ただし、インバウンドを除くと微減傾向と推察

海外市場

中国での経済減速が見られるが、
アジア全体では引き続き緩やかに成長を維持

当社グループの取組み

— 中期経営計画に基いた戦略を実行 —

国内の更なる収益基盤強化

海外展開の加速

資本効率の改善による企業価値向上

連結業績

金額（前期比）

売上高

2,147.8億円(前期比 +8.4%)

営業利益

225.1億円(前期比 +27.3%)

経常利益

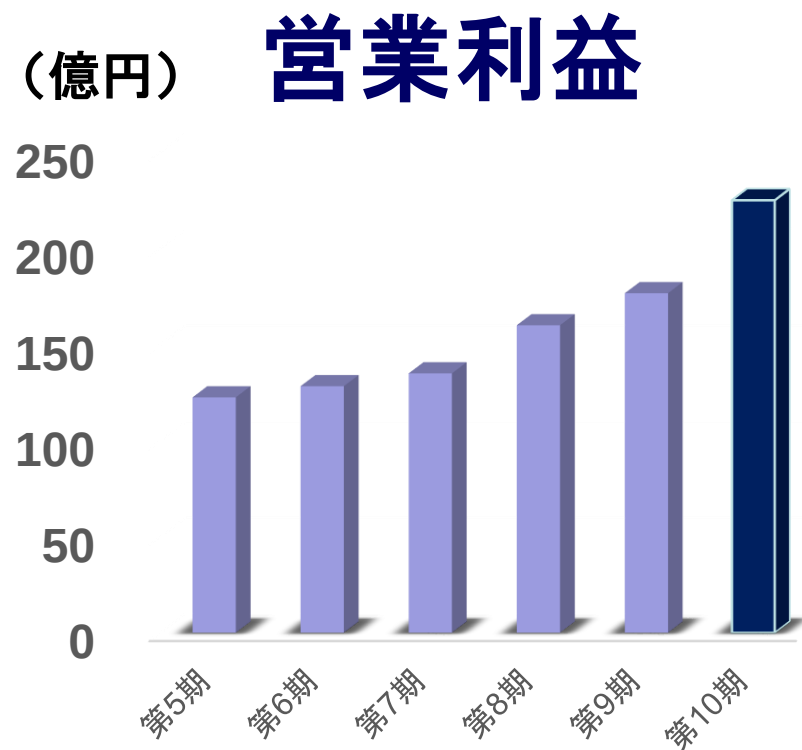
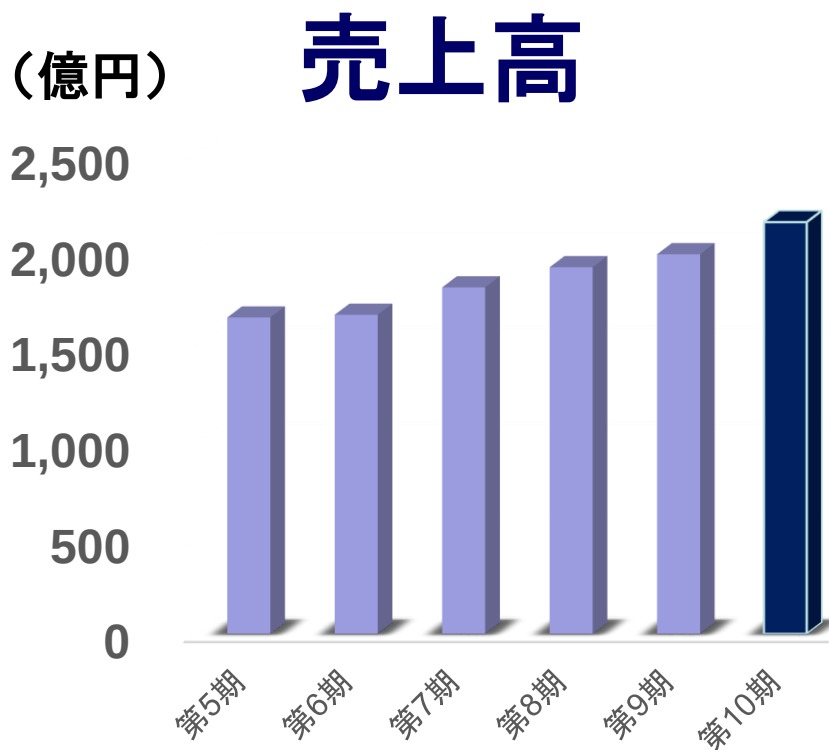
223.5億円(前期比 +17.3%)

当期純利益

140.9億円(前期比 +35.8%)

連結業績

6期連続の増収・営業増益を達成



各事業別セグメントの業績

ビューティケア事業

POLA

エイジングケア・美白を中心に強化



BA



White shot

ビューティケア事業

POLA

ポーラザビューティをチェーン展開



2015年12月末現在 全国630店

ビューティケア事業

ORBIS

主力のリニューアルと、新ラインを投入



CLEAR



ORBIS =U

ビューティケア事業

ORBIS

SNSを活用したマーケティング活動



【LINE】



【facebook】



【Twitter】

SNSを活用したプロモーション展開を強化し新規顧客を獲得

ビューティケア事業

育成ブランド THREE・decenciaが好調に推移



THREE



decencia

ビューティケア事業

海外ブランド 中国は苦戦、Jurlique豪州が伸長



Jurlique



h2o+
THE SCIENCE OF MARINE SKINCARE

ビューティケア事業

売上高

2,005.7億円

(前期比+8.7%)

(億円)

2,500

2,000

1,500

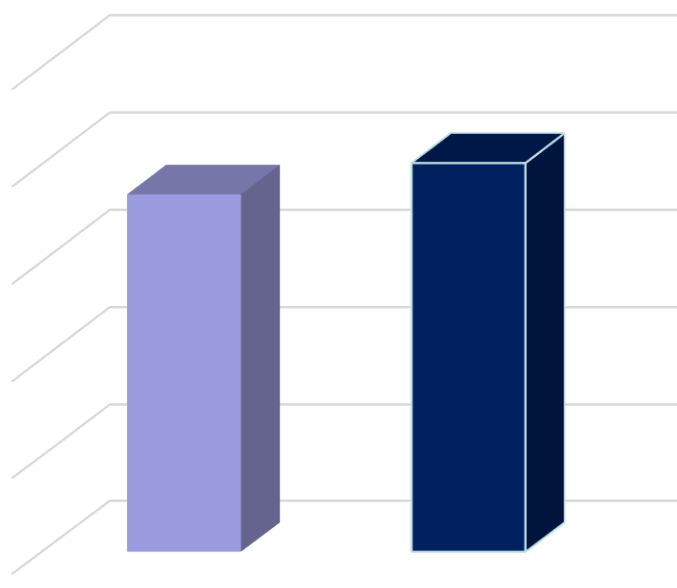
1,000

500

0

第9期

第10期



営業利益

212.9億円

(前期比+28.8%)

(億円)

250

200

150

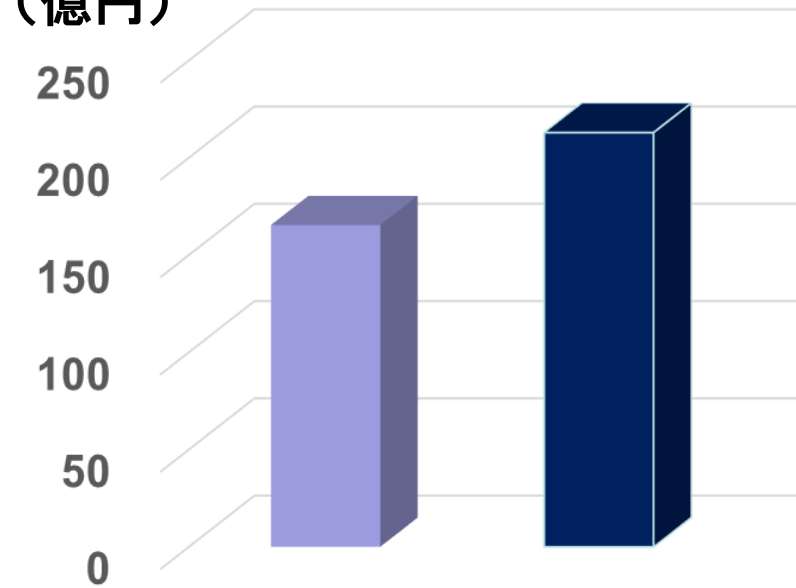
100

50

0

第9期

第10期



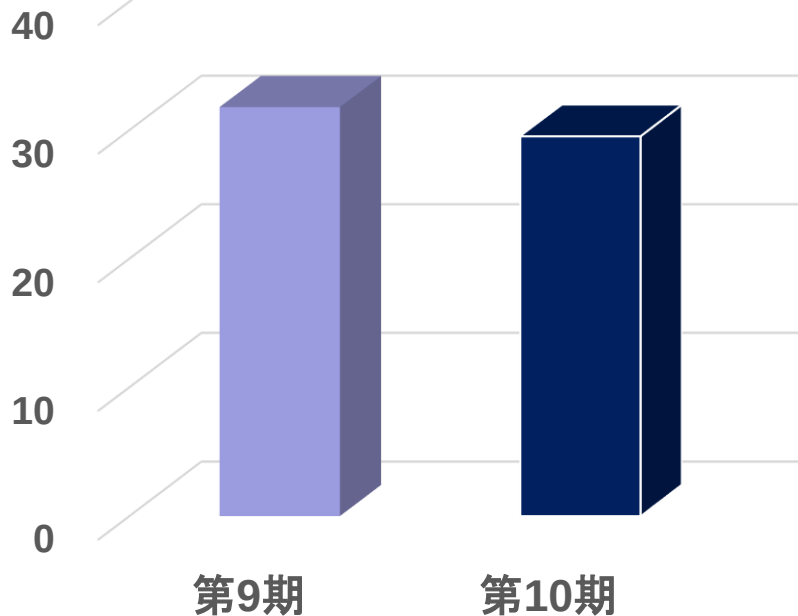
不動産事業

売上高

29.5億円

(前期比 Δ 7.2%)

(億円)

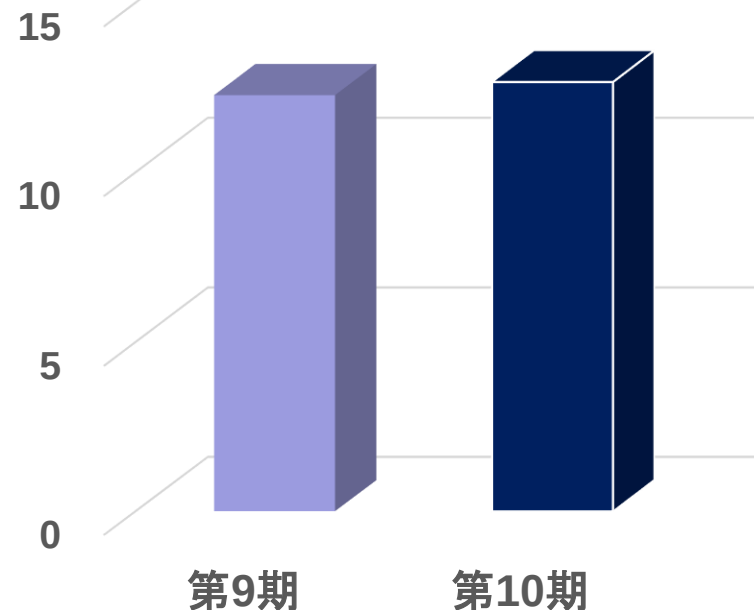


営業利益

12.6億円

(前期比+3.1%)

(億円)



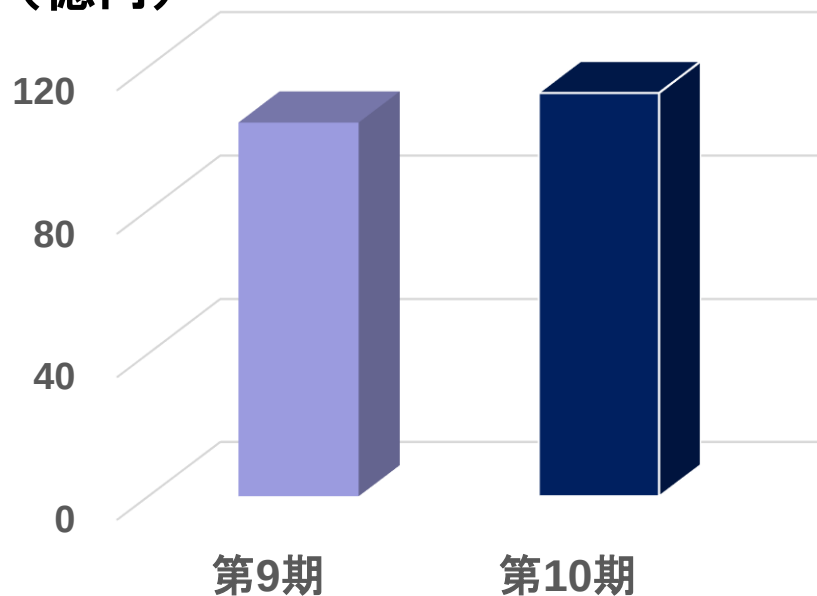
その他（医薬品事業・ビルメンテナンス事業）

売上高

112.6億円

（前期比+7.9%）

（億円）

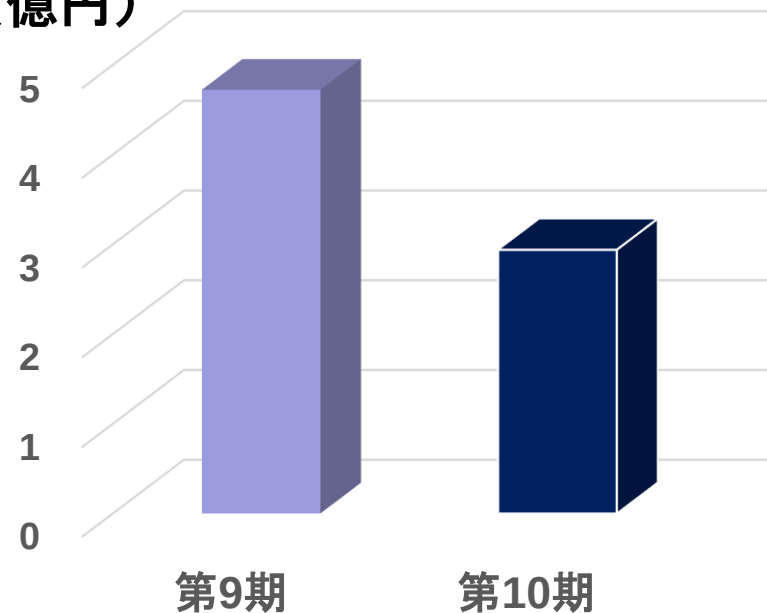


営業利益

2.9億円

（前期比△37.8%）

（億円）

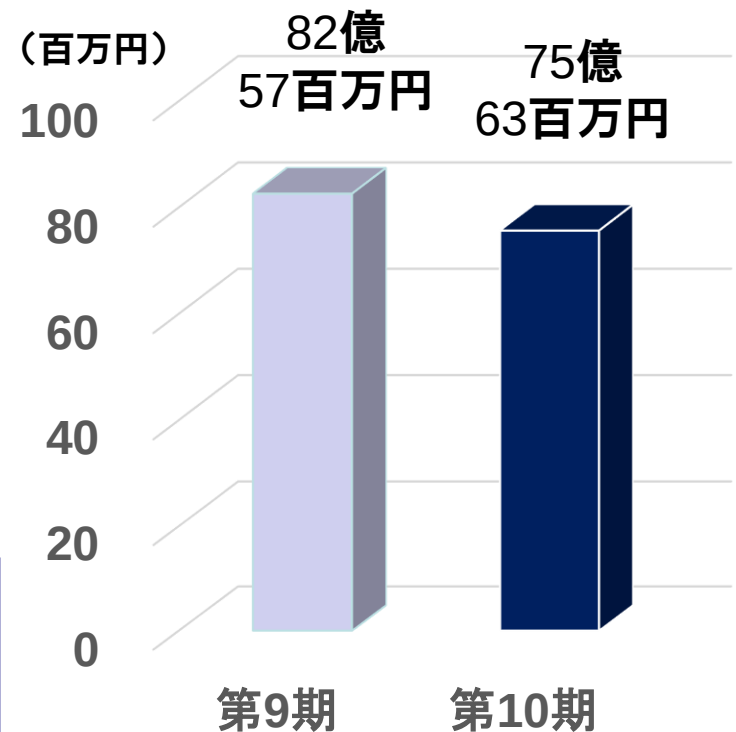


設備投資等の状況

設備投資等の状況

システム投資、生産機能強化等を実施

ビューティケア 事業	64億34百万円
不動産事業	2億31百万円
その他	5億80百万円
全体	75億63百万円



連結貸借対照表

平成27年12月31日 現在

資産の部

現金及び預金の増加による増が主要因

(億円)

2,500

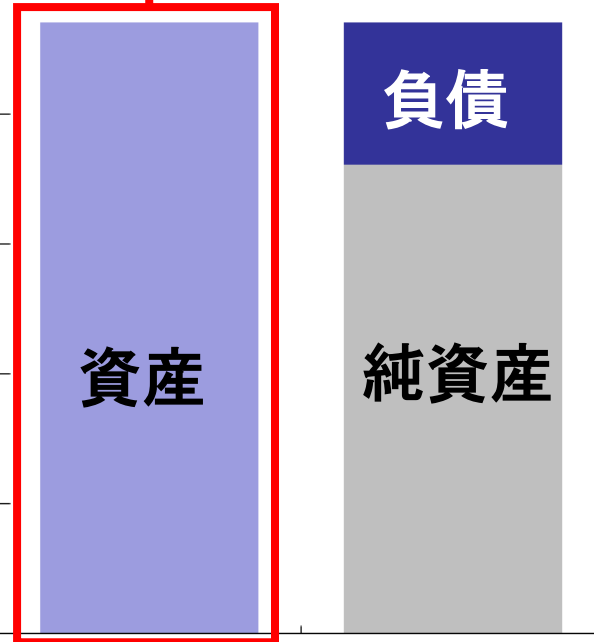
2,000

1,500

1,000

500

0



2,357億34百万円

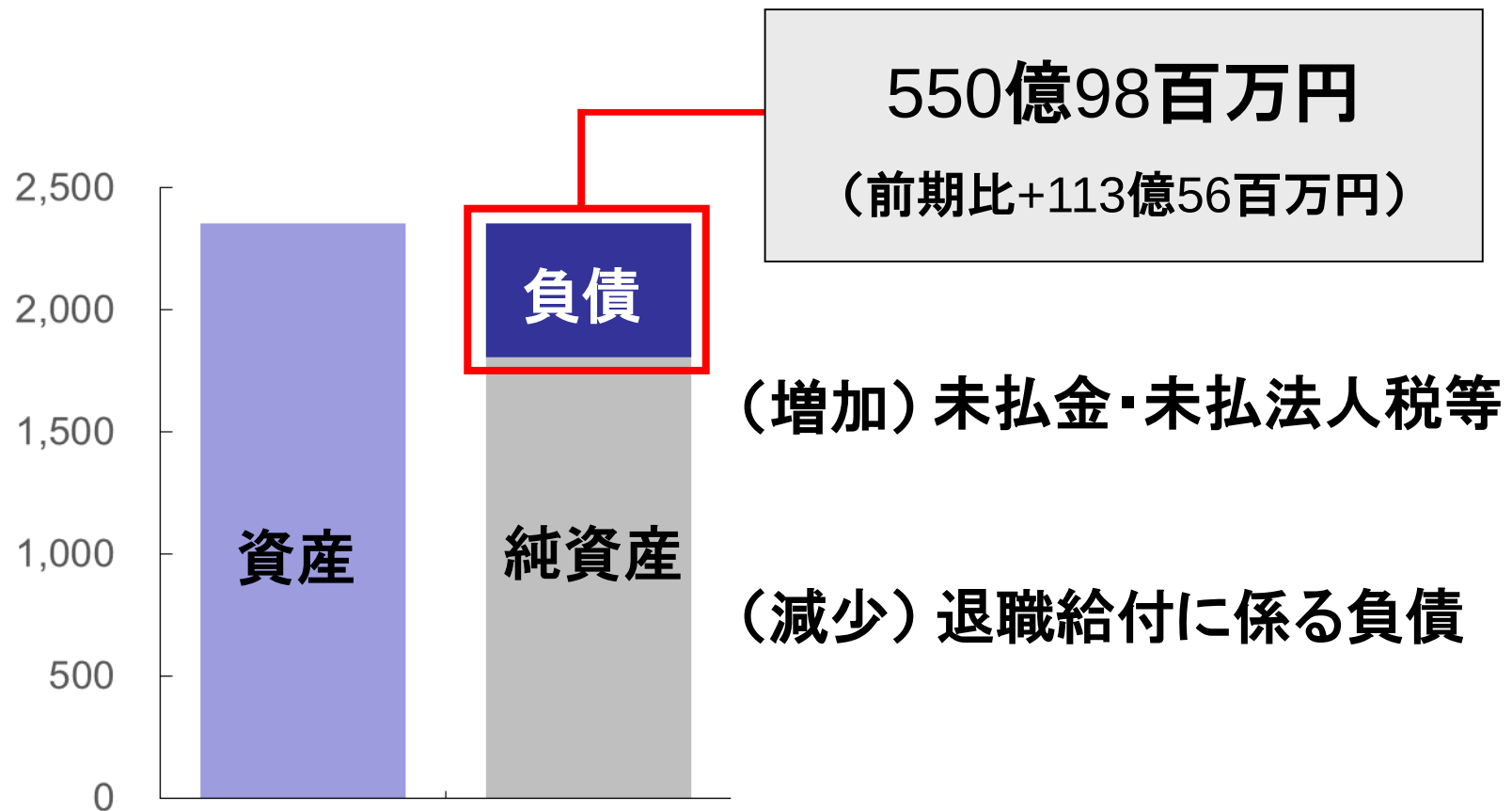
(前期比+111億98百万円)

(増加) 現金及び預金
投資有価証券

(減少) 為替変動による
無形固定資産(のれん・商標権)
の減少

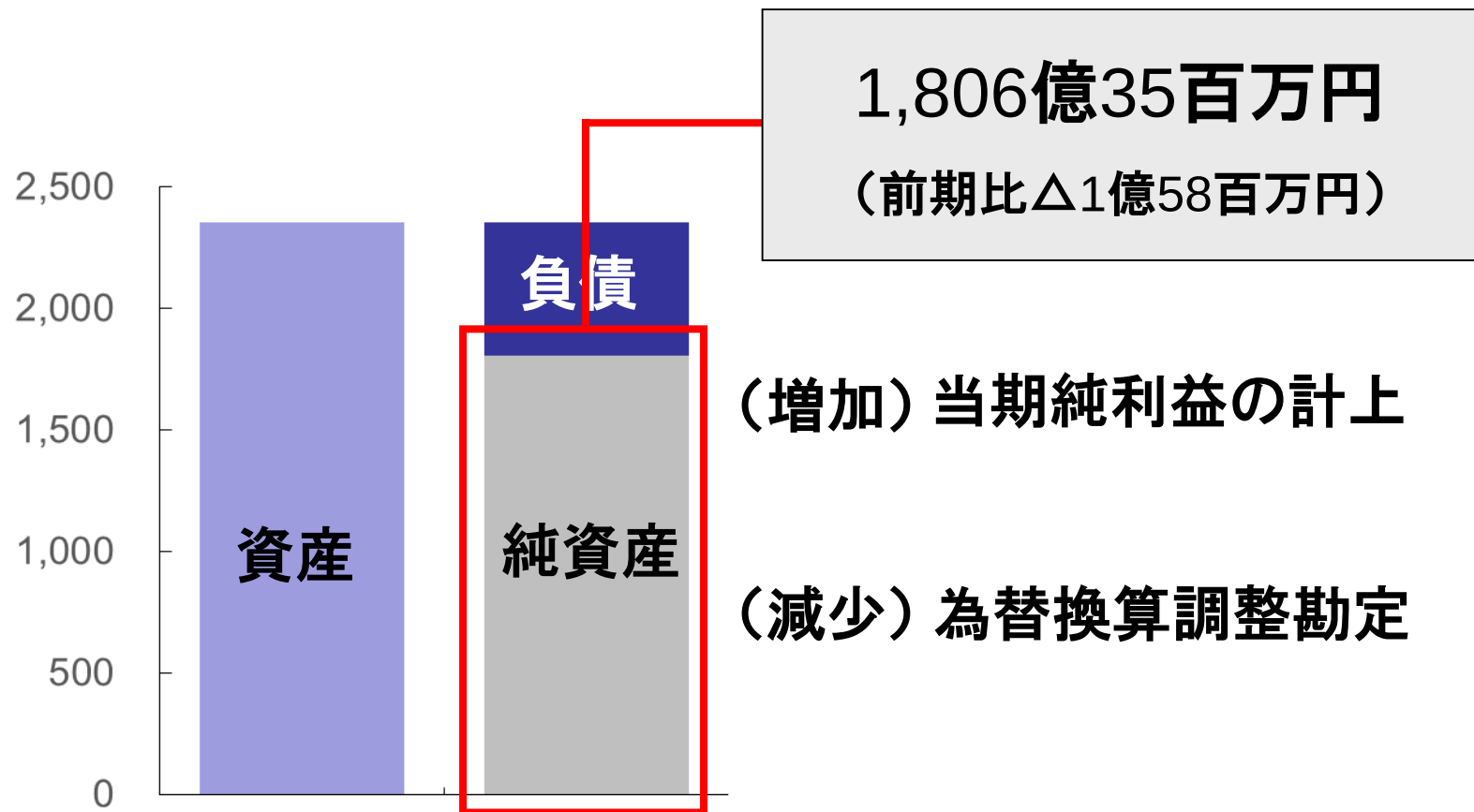
負債の部

未払金等の増加が主要因



純資産の部

増・減要因が相殺しあい 前年並み



連結損益計算書

平成27年1月1日から12月31日まで

連結損益計算書

	金 額	前期比
売上高	2,147億88百万円	+8.4%
売上総利益	1,729億88百万円	+9.0%
営業利益	225億11百万円	+27.3%
経常利益	223億59百万円	+17.3%
税金等調整前 当期純利益	226億85百万円	+74.8%
当期純利益	140億95百万円	+35.8%

対応すべき課題

中期経営計画(基本方針)

長期ビジョン達成に向けたセカンドステージ

- 国内の更なる収益基盤強化と海外展開の加速
- 資本効率改善による企業価値向上

これらの達成に向けて
6つの経営指標と4つの成長戦略
に取り組んでいます。

中期経営計画

国内の更なる収益基盤強化と海外展開の加速

指標① 連結売上高



年平均成長率 3～4%
(2015年実績 8.4%増収)

指標② 海外売上高比率



2016年 15% 以上
(2015年実績 11.9%)

中期経営計画

国内の更なる収益基盤強化と海外展開の加速

指標③ 営業利益額



年平均成長率 15% 以上
(2015年実績 27.3%増益)

指標④ 営業利益率



2016年 11% 以上
(2015年実績 10.5%)

中期経営計画

資本効率改善による企業価値向上

指標⑤ ROE目標



2016年 9% 以上
(2015年実績 7.8%)
8%から9%に上方修正

指標⑥ 配当性向



2014年以降 50% 以上
(2015年実績 58.8%)

中期経営計画(成長戦略)

戦略①

国内

「基幹ブランドの安定成長とグループ収益牽引」
「育成ブランドの売上成長と収益化」

戦略②

海外

「海外ブランドの高成長持続と収益貢献」
「基幹ブランド海外戦略の再構築」

戦略③

経営基盤の強化

戦略④

資本効率の向上と株主還元の充実

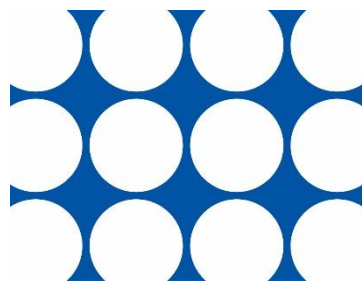
戦略① 基幹ブランドの安定成長

POLA

新経営体制で新ブランド戦略を開始

Science. Art. Love.

POLA



新コーポレートロゴ・ビジュアル



(左)B.Aプロテクター

(右)ホワイティシモ

パウダーファンデーション

戦略① 基幹ブランドの安定成長

ORBIS ブランド進化による更なる成長と収益性向上



オルビス=U ホワイト



LOHACO

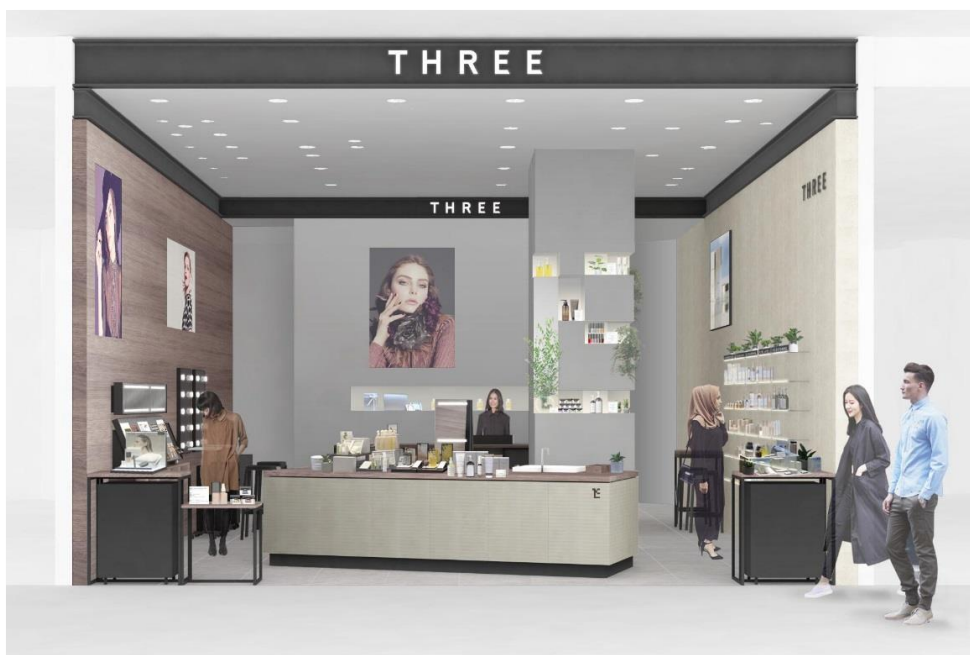


Amazon

新たな販路に展開(新規顧客獲得)

戦略① 育成ブランドの売上成長と収益化

2017年の黒字化と、各ブランドの更なる成長加速



THREE海外展開の加速
(4月よりマレーシアに展開)



decencia エイジングケア
シリーズの強化

戦略② 海外ブランドの高成長維持と収益貢献

ビジネスモデル変更と、リブランディングにより
早期の利益貢献を目指す



Jurlique 中国店舗



H2O PLUS 中国店舗

戦略② 基幹ブランドの海外戦略再構築

選択と集中による収益改善と、重点国での成功モデル構築



ポーラ 中国百貨店



オルビス 中国サイト

戦略③ 経営基盤の強化

- ・国内外で通用する新価値の創出と、モノづくりの進化
- ・グローバル人材や、次世代の経営者候補人材の育成



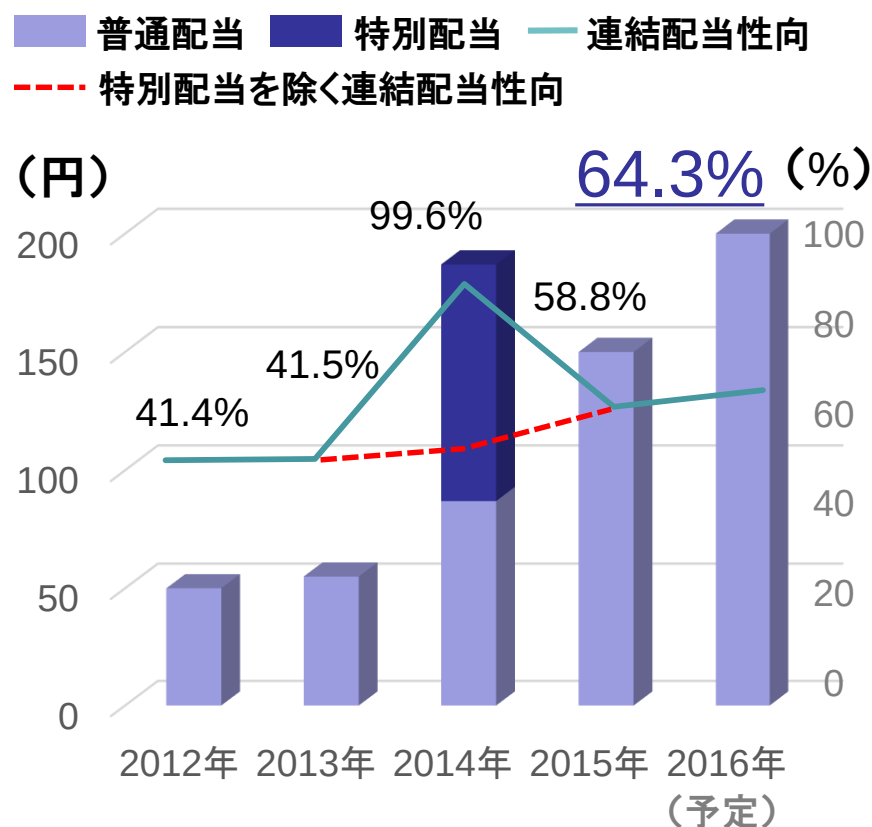
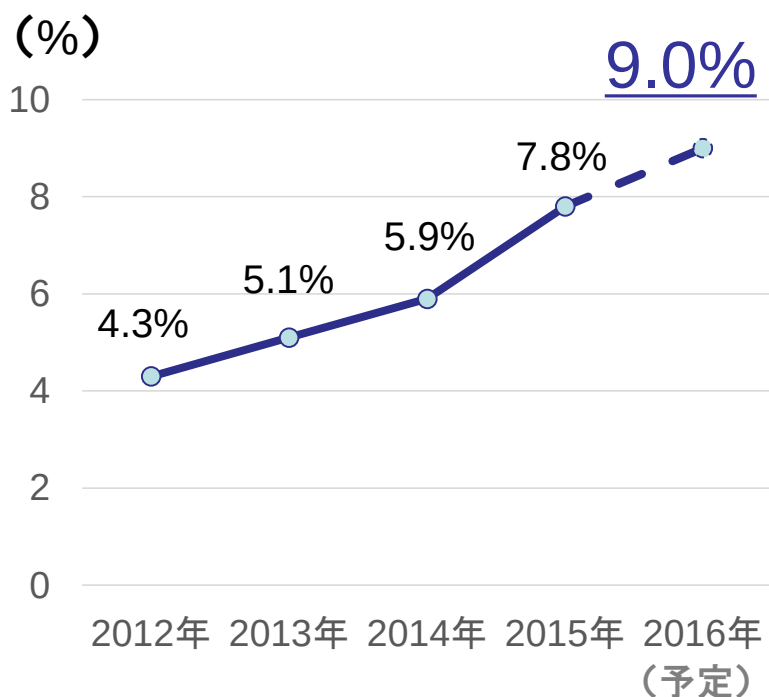
ポーラ化成工業 袋井工場



社内研修「経営幹部養成講座」

戦略④ 資本効率の向上と株主還元の充実

- ・資本効率の向上(2016年ROE目標を9%に上方修正)
- ・配当性向50%以上をベースとし、安定的な配当を実現



【補足説明】

当社グループの今期の見通し

今期 業績見通し

	金 額	前期比
売 上 高	2,190億円	+2.0%
営業利益	250億円	+11.1%
経常利益	251億円	+12.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	172億円	+22.0%
配当金/配当性向	200円/配当性向64%	+50円
ROE目標	9%以上	+1.2pt

第10期 定時株主総会

2016年3月30日
(株)ポーラ・オルビスホールディングス